



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年8月22日 第33号

発行者：校長 菅野 定行

夏休み西高生の様子その1

～7月25日(金)オープンキャンパス～

中学生の皆さん、そして保護者の皆さま、ようこそおいでくださいました。

石巻西高校は今年で創立34年目を迎える、石巻地区の普通科高校では一番新しい学校です。学校周辺の環境も大きく変化しました。隣接する蛇田地区にはさまざまなお店が建ち並び、復興住宅にも多くの方が住むようになりました。また、学校から800mのJRあゆみ野駅は、この3月から朝夕の快速列車が停車するようになり、女川・渡波方面、前谷地・涌谷方面からの通学も非常に便利になっています。

まず、西高卒業生の活躍をいくつか紹介しましょう。この春卒業した先輩に、私立大学最難関の慶応大学に合格した人、箱根駅伝で有名な青山学院大学に合格した人がいます。また、本校卒業生の鈴木遼太郎君は日本ハムファイターズからドラフト指名を受け、プロ野球選手になりました。西高が生徒の力を最大限に伸ばす学校であることの現れですね。

次に、西高の特徴を2つ述べましょう。一つ目は特定の分野に偏らない、何にでも取り組める学校だということです。もちろん基本は学習ですが、部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動…、さまざまなことにチャレンジできます。そして、それらを通し、社会で求められる力をバランス良く身につけることができます。いろいろなことにトライしたいと考えている人はぜひ西高を目指してください。

二つ目はさまざまな進路選択ができるということです。卒業生の進路は6割が大学・短大、3割が専門学校、1割が公務員・民間就職です。本校の先生方はそれぞれの進路に応じて丁寧に指導してくださいます。また、将来の夢をイメージするためのプログラムもたくさん用意されています。将来の進路がまだはっきりと決まっていない人も安心して西高を目指してください。西高の3年間で皆さんの夢を描くお手伝いをいたします。

さて、西高が今年度力を入れていることを3つ紹介します。一つ目は「考える力を育てる」ということです。再来年から大学入試は大きく変化します。今まで以上に「思考力」や「表現力」が求められるようになります。西高は早い段階からア

クティブ・ラーニング型授業やICT活用型の授業を積極的に取り入れています。何より、皆さんが楽しく参加できる授業です。西高は今年から1クラス少なくなりましたが、その分先生方は丁寧に指導をしてくれます。ぜひ西高で真の学力を身につけてください。

二つ目は「意欲を育てる」ということです。以前から力を入れている国際理解教育と防災教育を今後も行っていきます。皆さんの中に、英語力を伸ばしたい、防災について学んで地域に貢献したい、と考えている人がいれば、西高は君にぴったりの学校です。ここでの生活を通して、前向きで積極的な人物へと成長してもらいます。

三つ目は「主体性を育てる」ということです。西高では生徒が自主的に文化祭や体育大会を企画し、運営します。先生方は生徒のお手伝いをするだけです。生徒主体ですから失敗することもあります。それでいいのです。自分たちで考え、仲間とともに取り組むことを何より大切にしています。部活動も同じです。生徒主体で自由に伸び伸びと活動しています。

この後、より具体的な説明があると思います。校舎見学では先輩方の姿をじかにご覧ください。この学校が自分に向いていると思った皆さんは、ぜひ西高を目指してください。我々は全力で皆さんの成長をお手伝いします。



気温30度近い中、中学生586人、保護者155人計741人の皆さんにお越しいただきました。ありがとうございました。本校からの説明も生徒会の皆さんが中心となって行ってくれました。アンケートの結果の約80%のみなさんが「西高を良く理解できた」と答えてくれました。中学生の皆さん、是非西高に来てください！待っています。